令和７年度三重県立看護大学一般選抜（前期日程）の個別学力検査科目「外国語」における表記誤りについて（詳細報告）

１　内容

（１）経緯

令和７年９月２２日（月）、出版社からのメールにより、一般選抜（前期日程）の「外国語」において、語句選択問題の正解解答の選択肢に表記誤りがあったことが判明しました。

これを受け、学内で当該設問の取扱い等について検討するとともに、令和６年度に実施した令和７年度特別選抜及び一般選抜の試験問題全体について、改めての点検を行いました。

他の問題に誤りがなかったことを確認したうえで、学内会議において、当該設問について選択肢に正しい解答が存在しないとの判断により、受験者全員（１５７名）を正解として採点をやり直すことを決定しました。

その結果を踏まえて、１０月２０日（月）に改めて合否判定の審議を行った結果、４名の方を新たに合格者といたしました。

（２）表記誤りの内容

個別学力検査　外国語　問６　設問２　［４］

【問題】

本文中の［①］～［④］に入る最も適切なものを、それぞれア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

【選択肢】

正）ア. Additionally　イ. Eventually　ウ. Neverth**e**less　エ. Therefore

誤）ア. Additionally　イ. Eventually　ウ. Neverthless　エ. Therefore

※表記誤りのあった「ウ. Nevertheless」は正解の選択肢

（３）原因

入試問題は、教科ごとに置いている作問担当者と補助者が中心となって作成しており、その過程では、複数回の検討会と点検担当者による点検を行っています。また、印刷業者との間でも複数回の校正を行っています。しかしながら、複数回にわたる点検の過程のいずれにおいても、誤りを発見することができませんでした。

２　新たな合格者への対応

受験者本人及び保護者に対し電話にて謝罪と経緯説明を行いました。現在、個別訪問を行い、改めて謝罪と経緯説明を行うとともに、今後の対応についてご相談させていただいています。また、本学に入学していれば発生しなかった費用等については、一人ひとりのご事情を考慮したうえで経済的な補償を行うとともに、本学へ入学を希望される場合は学修支援を行うなど、誠意をもって対応をしてまいります。

３　再発防止策

今後は、問題作成、印刷の校正、完成原稿の確認、解答の作成の各段階における確認を一層徹底します。また、文書作成ソフトのスペルチェック機能の活用をはじめとするデバイス上での確認作業や、試験終了後の再点検など、これまでとは異なる角度での点検を検討し、再発防止を徹底してまいります。